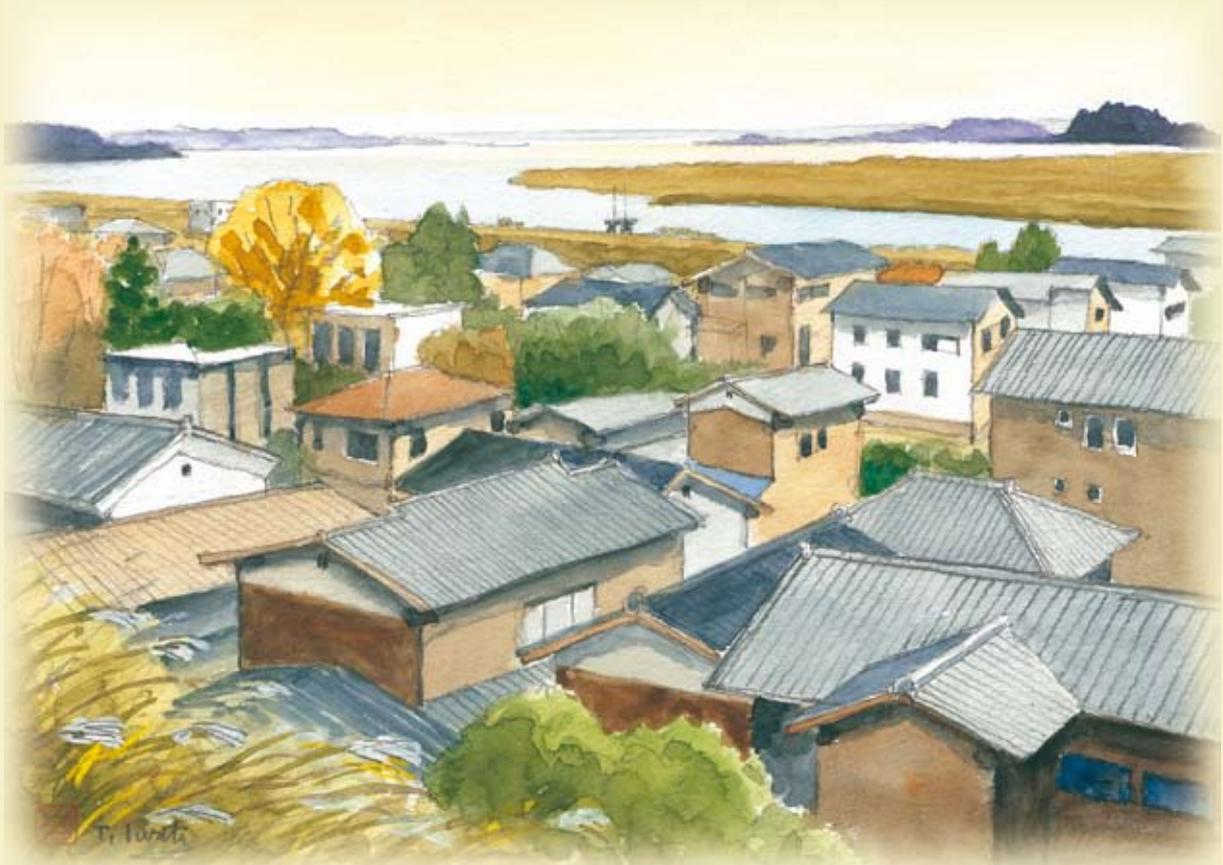


いしおか

1・1

No. 78



提供：石岡市まちづくりアカデミーⅢ

主な内容

- 第23回国民文化祭・いばらき2008 盛大に開催 P4
- 秋の叙勲・褒章
=栄誉に輝く6人= P7
- 障害者のネットワーク
いっしょに活動しませんか P8
- 産業祭・八郷ふれあいまつり開催 P12

高浜入りを望む

(高 浜)

高浜の高台(権現山)から水辺を望むと、恋瀬川の先に霞ヶ浦を見ることができます。

高浜は、古くから霞ヶ浦水運の要衝として栄えました。河岸は、鉄道が発達するまで、物資輸送の中心を担っていました。

謹賀新年



石岡市長
横田 凱夫

着実な発展を目指して

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、平成二十一年の新春をご家族や仲間とともに、健やかなうちにお迎えのことと拝察し、心からお喜び申し上げます。

また、日ごろから石岡市政にお寄せいただきありがとうございます。ご協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

本年は、合併してから四年目を迎え、市民の意見を踏まえて精査した合併特例債事業、あるいは永年の懸案であった事業が動き出す年となります。

朝日トンネルの整備に入るとともに、常磐自動車道へのETC専用インター設置では、平成

二十二年完成を目指し本年から事業に着手します。

石岡駅周辺の整備も事業化に向けて歩みだします。また、地域の主要交通である石岡・小川地区間のバス路線の輸送力を増強し、茨城空港へのアクセスを確保するため、公設民営による鹿島鉄道軌道敷へのバス専用道路の整備も、関係機関の協力のもと、具体的になりつつあります。これら都市交通網の整備は私たちの生活環境の向上に大きな効果として、現れるものと期待をしております。

加えて、市民の皆様にはわかりやすい窓口サービスを提供できるように新たに総合窓口を設

置し、利便性の向上を図ってまいります。

長びく経済不況による税収入の減とあわせ、各種税や納付金を滞納するケースが増えている現実があり、地方自治体を取り巻く環境は、益々厳しさを増しております。

そうした中、課題解決に向けて、市民参画による協働のまちづくりを進め、少ない経費で大きな効果を得るべく、全力で取り組み覚悟であります。

市民の皆様方には、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が希望にあふれる年となることを念願しまして、新年のあいさついたします。



石岡市議会議長

久保田 健一郎

活力ある石岡市の実現に向けて

新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、皆様の温かいご支援ご協力により、議会活動に邁進できましたこと、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、現在のわが国の経済状況は、金融危機や円高、株安などにより、厳しい状況が続いております。石岡市の財政状況も同様に厳しいものがあり、自主財源の確保や経費の節減、事務事業の効率化など積極的な行政改革の推進が求められております。また、少子高齢化社会へ

の対応や教育文化の充実、地域の産業の振興、環境問題など課題も山積しております。これからは、あれもこれもという時代から事業の選択と集中により限られた予算を有効に活用することが大事になってまいります。

一方、石岡市を取り巻く社会環境も大きく変化をしており、つくばエクスプレスの開通や開港間近な茨城空港、そして、現在推進中の国道6号バイパスや北関東自動車道、朝日トンネル、スマートインターチェンジの整備などインフラ整備の面で明るい展望が大きく広がっており、今後のまちづくりには大きな期待が寄せられております。

このような状況の変化を石岡市が大きく飛躍するチャンスとしてとらえ、この大切な時機を逸することなく、各種施策を積極的に展開していくことが重要になってまいります。

私たち議会は、市民の皆様のご貴重なお意見をいただきながら、住民福祉の向上と新しい時代の要請にこたえるべく、活力ある地域社会の実現に向けて、議員一同全力で努力してまいりますので、引き続き市民の皆様のご温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多い素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。そして、新年のあいさつといたします。

第23回国民文化祭・いばらき2008 「都々逸・言の葉まつり」 「獅子舞フェスティバル」 盛大に開催



11月1日～9日の9日間、県内34市町村で「第23回国民文化祭・いばらき2008」のイベントが行われました。
石岡市開催事業として、11月1日～2日に市民会館で筑波嶺と万葉フェスティバル「都々逸・言の葉まつり」が、11月8日には石岡運動公園で、民俗芸能の祭典「獅子舞フェスティバル」が開催されました。



都々逸・言の葉まつり 唄の部



土橋獅子舞保存会

「都々逸・言の葉まつり」

全国から愛好者が参加

一日目（11月1日）

全国から多くの愛好者が集うなか58名が
出場し「唄の部」コンクールが行われ20名
の決戦出場者を選出しました。

アトラクションでは、霞ヶ浦帆船曳保存
会社中による「霞ヶ浦帆船曳唄」、都々逸全
国大会歴代優勝者による唄、歌手の比気由
美子さんによる民謡の披露があり会場を盛
り上げました。

二日目（11月2日）

決戦出場者20名がそれぞれの歌声を競い
合い、各部門賞を決定し表彰式が行われま
した。

また、全国から応募があった「作詩の部」
の結果発表のあと受賞者への表彰や、柴間
美喜夫さんと豊島真一さんによる津軽三味
線の合奏などのアトラクションも行われま
した。

唄の部 受賞者 【敬称略】

一般の部（出場者数58名）

○唄の部は、参加者がそれぞれ課題曲「た
んと売れても 売れない日でも 同じ機嫌の
風車」と、自由曲を独特の節回しで唄い、
それを審査し入賞者を決定しました。
○作詩の部は、応募のあった作品を事前
に審査し入賞作品を決定しました。

- 文部科学大臣賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・ひたちなか市 岩間 義彦
- 国民文化祭実行委員会会長賞・・・・・・・・・・東京都葛飾区 八木 翠
- 茨城県知事賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・水戸市 森島 次男
- 第23回国民文化祭茨城県実行委員会会長賞・那珂市 富山 邦男
- 茨城県教育委員会教育長賞・・・・・・・・・・東海村 河崎 勉
- 石岡市長賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・日立市 高橋 美子
- 第23回国民文化祭石岡市実行委員会会長賞・石岡市 倉持 清子
- 石岡市議会議長賞・・・・・・・・・・・・・・・・常陸太田市 曾澤 清
- 石岡市教育委員会教育長賞・・・・・・・・・・石岡市 前島 くに子
- 石岡市文化協会会長賞・・・・・・・・・・・・・・・・石岡市 榎本 義次

問い合わせ

教育委員会文化振興課

☎ 43・1111

(内線1233)



作詞の部 受賞者 【敬称略】

小・中・高生の部 (応募総数 1646点)

● 文部科学大臣賞

こんな世の中望んでいない 変えていこうよ僕たちで

八郷南中学校 3年 久保田 朋哉

● 国民文化祭実行委員会会長賞

いつも心にしまっておこう 俺の大事な片思い

石岡中学校 3年 加藤 義貴

● 茨城県知事賞

緑のカーテン ゴーヤにキウイ 風鈴うちわでエコライフ

府中中学校 2年 水野 和花子

● 第23回国民文化祭茨城県実行委員会会長賞

またまた私は若いんだよと 言って苦しむ五十肩

石岡中学校 3年 飯塚 征也

● 茨城県教育委員会教育長賞

一本勝ちして勝負を決める オリンピックの彼、彼女

府中中学校 2年 松本 大輝

● 石岡市長賞

スイカ風鈴線香花火 暑さをいやす必需品

石岡中学校 3年 田島 聖也

● 第23回国民文化祭石岡市実行委員会会長賞

遊みたいけど勉強しなきゃ 意外と短い夏休み

石岡中学校 3年 細谷 実咲

● 石岡市議会議長賞

祭囃子が遠くに聞こえ 落ち着きなくなるうちの兄

府中中学校 3年 来栖 亮介

● 石岡市教育委員会教育長賞

痩せる痩せたい言ってるだけで 実行できず夏終わる

国府中学校 3年 横山 彩香

● 石岡市文化協会会長賞

いつも爆睡地震かきても 寝続けているお姉ちゃん

石岡中学校 2年 大須賀 梢

筑波嶺と万葉文化フェスティバル

都々逸言の葉まつり

第23回国民文化祭
いばらき2008



一般の部 (応募総数 360点) 【敬称略】

● 文部科学大臣賞

思い掛け橋情けの小橋 今じゃ逢瀬おわせの赤瀬橋

石岡市 惣野代英子

● 国民文化祭実行委員会会長賞

胸に腰にと女をしぼる 紐の数々花衣

埼玉県加須市 関口 久子

● 茨城県知事賞

国を挙げての言の葉まつり 浮かれ出たかる扇歌坊

美浦村 中島 静風

● 第23回国民文化祭茨城県実行委員会会長賞

色は褪せても性根は褪せぬ 老いが野良着に掛ける夢

美浦村 飯塚 筑風

● 茨城県教育委員会教育長賞

いいな石岡獅子舞い祭り おかめひよつとこ飾り山車

石岡市 鈴木 虚心

● 石岡市長賞

切れる若者ころこの闇の 謎を解く鍵見つけたや

常陸太田市 小島 功

● 第23回国民文化祭石岡市実行委員会会長賞

いきなり電話の仕掛けた畏が 老いの虎の子絡めとる

東京都太田区 渡辺とみ子

● 石岡市議会議長賞

秋はわたしを詩人にさせて 恋のむなしさ書いている

ひたちなか市 菊池 栄子

● 石岡市教育委員会教育長賞

いつまで待つものしらへ直して おれの年金かえしてね

水戸市 石崎 吉彦

● 石岡市文化協会会長賞

お産控えて三年ぶりに 母と寝て聞く遠蛙

ひたちなか市 黒澤きよ子



▲高部獅子舞保存会 (愛媛県今治市)



▲本矢作伊勢神楽保存会 (千葉県香取市)



11月8日
韓国の重要文化財「太平舞」も披露
「獅子舞フェスティバル」
民俗芸能の祭典「獅子舞フェスティバル」が、石岡運動公園で開催されました。それぞれが特色ある素晴らしい演舞を披露し、2万4000人の観客を魅了しました。

韓国芸術総合学校伝統芸術院
国の太平盛大を祈る意味を持ち、韓国重要無形文化財第92号にも指定された「太平舞」が学生によって格調高く演舞披露されました。



▲排禍ばやし保存会



▲館獅子保存会



▲荒宿ささら保存会



▲富田町ささら囃子保存会



▲石岡囃子連合保存会



▲金丸はやし連・守横はやし連

国民文化祭

6人の市民が入賞

県内各会場で行われた様々な分野で入賞された石岡市内在住の方を紹介します。【敬称略】

美術展「写真」

- 文部科学大臣賞 石岡市 鈴木 健司
- つくば市議会議長賞 石岡市 小林 優

文芸祭「俳句」

- 一般の部
 - 現代俳句協会会長賞 石岡市 小池 勉

文芸祭「現代詩」

- 中・高校生の部
 - 国民文化祭実行委員会会長賞
 - 石岡第一高等学校 2年 玉造 泉
 - 小学校低学年の部
 - 土浦市議会議長賞
 - 小枝小学校 3年 濱野 優芽
 - 小学校高学年の部
 - 茨城県議会議長賞
 - 石岡小学校 4年 柏木 誠史

市内参加団体 (8団体)

- 排禍ばやし保存会 (栃木県)
- 館獅子保存会 (栃木県)
- 荒宿ささら保存会 (栃木県)
- 富田町ささら囃子保存会・本矢作伊勢神楽保存会 (千葉県)
- 土橋獅子舞保存会 (千葉県)
- 金丸はやし連 (愛媛県)
- 守横はやし連 (愛媛県)
- 石岡獅子連合保存会 (愛媛県)

県外参加団体 (5団体)

- 法霊神楽 (青森県)
- 韓国芸術総合学校伝統芸術院 (韓国)

天下一関白神獅子舞 (栃木県)

南飯田神田囃子保存会 (栃木県)

高部獅子舞保存会 (愛媛県)

韓国からの参加団体

韓国芸術総合学校伝統芸術院 (韓国)

秋の叙勲・褒章

|| 栄誉に輝く6人 ||

平成20年秋の叙勲、危険業務従事者叙勲、高齢者叙勲、褒章において、石岡市から次の方々が永年の功績により栄誉に輝きました。

秋の叙勲



瑞宝双光章
平木 貞夫
(元航空自衛隊第7航空団
基地業務群本部計画班長)

危険業務従事者叙勲



瑞宝双光章(警察)
横山 直樹
(元警視正)

危険業務従事者叙勲



瑞宝双光章 (消防)
森戸 要範
(元石岡市消防監)



瑞宝双光章(消防)
今野 誠一
(元新治地方広域事務
組合消防監)



瑞宝单光章(防衛)
林 憲生
(元准海尉)

褒章



藍綬褒章
富田 忠久
(統計調査)

(順不同・敬称略)

叙勲・褒章

● 瑞宝章(ずいほうしょう)
国家または公共に対し功労のあった方で、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に授与されます。

● 危険業務従事者叙勲
警察官、自衛官など著しく危険性の高い業務に精励した方に対する叙勲です。

● 藍綬褒章(らんじゅほうしょう)
公衆の利益を興した方、または公同の事務に尽力した方に授与されます。



1月11日

成人式開催

石岡市では、新成人の門出を祝し、また成人の日を記念して成人式を行います。ぜひ、この記念すべき式典に出席ください。



▲ 昨年の成人式

- ◆ 日時 1月11日(日)
- ◆ 受付 午後0時20分〜
- ◆ 式典 午後1時〜
- ◆ 会場 市民会館大ホール

新成人の方は、昭和63年4月2日〜平成元年4月1日生まれの方です。住民基本台帳をもとに、昨年の11月下旬に案内状を送りました。案内状が届かない方は、教育委員会生涯学習課まで問い合わせください。なお、当日は記念品と引き換えになりますので、案内状は忘れずにお持ちください。

◆ 問い合わせ
教育委員会 生涯学習課
☎ 43・1111
(内線1242)



第58回「子育て力と地域力」講演会

講師 茨城キリスト教大学教授

安藤 博先生 ● とき 1月25日(日)

子どもたちを健やかに育てる ● 午後1時〜

ため、いま、子育ての力と地域 ● ところ ふれあいの里石岡

の力が問われています。今回、 ● ひまわりの館(介護研修室)

茨城キリスト教大学の安藤教授 ● 入場料 無料

の「子育て力と地域力」という ● 定員 120名(先着順)

テーマの講演があります。 ● 問い合わせ

多くの方の参加を待っています。 ● 市役所秘書広聴課
☎ 23・1111(内線211)

障害者のネットワーク いっしょに活動 しませんか？

現在、石岡市には障害者の団体が6団体あります。それぞれの団体が、情報交換や研修会など、さまざまな特色ある事業活動に取り組んでいます。

今回、各団体の活動内容などを紹介します。どの団体も、随時会員を募集していますので、気軽に問い合わせください。

また、障害者福祉に関することについては、市役所社会福祉課までお問い合わせください。



■問い合わせ
市役所社会福祉課
☎23・1111
(内線152)
FAX27・5835

●視覚障害者協会

視覚障害者協会は、視覚障害を持つ人の入会を募集しています。

当協会では、希望する会員に朗読ボランティア「ひびきの会」の協力によるカセットテープ版（返却制）の市報やテープマガジン、点訳ボランティア「つくし」の協力による点字版の市報を送付しています。

視覚障害者が安心して、より良い生活が送れるよう、各ボランティア団体との交流を深めたり、市行政との話し合いや各種セミナー、福祉大会に参加するなど、会員の知識向上を図っています。

また、会員の健康増進や他の障害者団体との友好を深める目的で、各種障害者スポーツ大会などにも参加しています。入会を待っています。

■問い合わせ
石岡市視覚障害者協会
会長 額賀 秀夫
☎43・1180

●聴覚障害者協会

聴覚障害者協会は、平成8年に設立しました。会員はろう者だけでなく、耳の聞こえる健聴者も賛助会員として入会し、さまざまな活動を通して、手話でコミュニケーションを図っています。

近年、地球環境の悪化で災害が増えています。当協会では、手話を普及させ、緊急時にボランティア活動ができる人を増やそうと、毎年開催される手話講座に協力しています。健聴者が会話をすることと同様に、手話は私たち聴覚障害者にとって、コミュニケーションを図るとても大切なものです。

現在、市役所にも手話通訳が週2回設置され、申請手続きなどがとても楽になりました。これから多くの人が手話を学び、コミュニケーションが図れるようになることを願っています。

■問い合わせ
石岡市聴覚障害者協会
事務局 堀川 ヒロ
☎24・0670

●身体障害者福祉協議会

私たちは身体障害者福祉協議会は、さまざまな障害を持ついる人たちが集まって、お互いの障害について話し合ったり、情報交換を行ったりしています。そして、県や市の障害者スポーツ大会などにも積極的に参加して、体力の増進や、他団体・他市町村との交流を図り、更なる活動の強化を目指しています。また、会独自の行事も開催しています。

ひとりで悩んでいる人、困りごとがある人、一緒に活動してみませんか。解決の糸口が見つかるかもしれません。身体障害者福祉協議会は、新しい会員を募集しています。ぜひ、お問い合わせ下さい。

■問い合わせ
石岡市身体障害者福祉協議会
会長 清水 晴美
☎22・5580

●心身障害児者父母の会

本会は50年の歴史を持つ会で、心身障害児者の保護者と会の趣旨に賛同する人の会です。各種福祉団体相互の連携を図り、障害者の教育と福祉の増進、親睦を深めることを目的として活動しています。

年間の活動は、懇談会や海の集い、一泊二日の視察研修や父母の会主催の運動会の開催、県や市のスポーツ大会への参加などです。

障害を持つ子の親は、どうやって育てていいのか、どこに相談したらいいのかなど、悩みは尽きないものです。同じ障害を持った子の親として、体験談などを話し合えると思います。何かきつと参考になることがあると思いますので、まずはご相談ください。

■問い合わせ
石岡市中心身障害児者父母の会
会長 岩橋 ふみ
☎23・8720

●手をつなぐ育成会野ばらの会

当会は、障害児者を持つ親の情報交換の場として、平成12年に発足し、現在、会員は25人です。主な活動として、療育キャンプや体験学習、ボランティア活動、研修会などがあります。療育キャンプは、毎年二泊二日で行っています。体験学習は、陶芸やパン作りなどを行い、余暇活動の場を提供しています。公共交通機関を利用しての外出や、ボランティア活動を通して、社会参加の場も広がっています。また、障害者を取り巻く福祉情勢について、いち早く情報を得るために、各福祉大会への参加も積極的に行っています。平成18年には、父親の療育参加を目的として、当会内に「おやじの会」を立ち上げました。現在、主催する行事には、多くのお父さんが参加しています。気軽にご相談下さい。

■問い合わせ
石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会 事務局 佐藤 智勝
☎080・2059・6277

●地域精神障害者後援会

「けやきの会」は、悩みを心から理解しあえる会です。こころの病気を抱えた人やその家族が、互いに支えあい、学びあい、そして助けあうことを目的としています。各種制度の充実を求める活動や、精神疾患に対する間違った認識をなくすための講演会などを行い、正しい知識の普及に力を注いでいます。

ひとりで悩んでいるよりも誰かに話すと気が楽になります。また、同じ様な病気を抱えている人の体験談を聞くことで参考になることもあると思います。ひとりで考え込まず、困ったときや悩んだ時は、ぜひ声を掛けてください。

■問い合わせ
石岡市地域精神障害者後援会「けやきの会」事務局 岡田 三枝子
☎23・5791



図書館つうしん

■問い合わせ 石岡市立中央図書館 ☎24・1507



「シンドバットの不思議な航海」よこたみのる作
「フングリ・コングリ 図工室のおはなし会」岡田淳作・絵 ほか

《人形劇》 入場無料

人形劇団 木偶

◆日時 1月24日(土)

2回公演(上演時間約1時間)

①午前11時

②午後2時

◆会場 石岡市立中央図書館 3階読書室

◆プログラム

- ・頑張れかめくん
- ・ゆかいなピエロ
- ・トウカクさんとオオカミ

《新着図書のご案内》

一般図書

「あなたに、大切な香りの記憶はありますか？」
阿川佐和子／石田衣良ほか著

「粗茶を二服」山本一力著

「冷たい水と、砂の記憶」

谷村志穂著

「ちよいいな人々」荻原浩著

「花木・庭木・家庭果樹の病気と害虫」

「子米朝」桂米團治著

「コッコツ勉強するコッコ」

「関東むかし町歩き」

「なるほど図解！*国境線の謎がわかる本」

「面白いはどよくわかる諺語」

「NHK 美の壺 神輿」

NHK「美の壺」制作班編

「図書館ねこデューイ」

ウィッキー・マイロン著

「頭のいい人がしている1日1分のビジネス手帳術」桃山透著

「菜子の冒険 猫は知っていたのかも。」深沢美潮著

「優雅なハリネズミ」

ミュリエル・バルベリ著

「皇后さまと子どもたち」

宮内庁侍従職監修

「ついつい会話に使ってみたくなる四字熟語」田中春泥著

「ニッポンのゲレンデ2009」

「保存版 土浦・石岡・つくば・かずみがうらの今昔」

「茨城県の戦争遺跡」

伊藤純郎著

ほか

《新着DVDのご案内》

「NHKテレビ体操1週間」

「野鳥図鑑 第1集」第4集

「皇居 吹上御苑」

「猫の恩返し」

「ミッフィーのおたんじょうび」

中央図書館2階

《1月のおはなし玉手箱》

・10日(土) 午後2時30分

《1月のおはなし会》

・17日(土) 午後2時30分

中央公民館和室

《1月のおはなしフレンズ》

・10日(土) 午後2時30分

◎対象は、幼児から小学校中学年ぐらいます。また、興味のある方はぜひお出でください。いずれも時間は約30分です。



【休館日】	
1月	2月
1～5	2・9
12・13	11・16
19・26	23・27
30	

まちの 話題 できごと

朝日里山学校の開校式
に300人が来場



▲ミニ門松作りを楽しむ(朝日里山学校にて)

ました。また、校庭では餅つき体験や石窯でのピザ焼き体験、かまど炊きの新米の試食、いのしし鍋や常陸秋そば、地元農産物の販売、片野排禍ばやしがまの披露などがあり、多くの人で賑わいました。

参加者アンケートでは、木の実工作や昔の遊び、パン作りなど体験プログラムへの要望や、イベント開催に関するさまざまな意見など、多くの声が寄せられました。

皇室にうれしい柿を



▲献上柿を厳選する審査員

皇室に献上する富有柿を選定する審査会が、11月13日に八郷総合支所で行われました。

審査会に先立ち、菊地副市長は「郷土の誇りである献上柿を厳正に審査して、素晴らしい柿を皇室にお届けしたい」とあいさつしました。

柿の献上は、市八郷柿振興協議会(本多孝夫会長)に加盟するマル園柿出荷組合、やさと農協柿部会、十三塚・上曹柿出荷組合の持ち回りとなっており、今年もマル園柿出荷組合が担当しました。

審査は、生産者が持ち寄った1個280個から300個の柿180個から、色つや、傷の有無、形状などを入念にチェックして、72個の柿を厳選。その柿にネットをかきつけて、3個の桐箱に24個ずつ丁寧に詰めました。

箱詰めされた柿は、14日に市長や柿振興協議会、生産者などで宮内庁に納められました。

秋晴れのもと商工 祭に3万5千人

秋晴れの空の下、11月2日にいしおかイベント広場で商工祭が開催され、家族連れなどおよそ3万5千人が訪れました。

開幕と同時に行われたひかり保育園とばらき台幼稚園の鼓笛隊の演奏には、カメラやビデオを手にした保護者などで賑わいました。

昨年好評だったサンマのつかみどりや、地元食材を使用した石窯ピザには、スタート前から多くの人が長い列を作っていました。



▲ひかり保育園、ばらき台幼稚園の園児による鼓笛隊

会場は、各種販売、展示、飲食コーナーなどが開設され、子どもに人気のエアートランポリンやふれあい動物園、国際交流の広場などさまざまなイベントが行われました。ステージ上では、うずまきNARUTOショーや、水戸工業高校のジャズバンド演奏などが披露され、恒例のビンゴゲームには多くの人が参加して、発表される数字に一喜一憂する姿がみられました。

会場を訪れた人は、小春日和の一日を、家族や友人と楽しみました。

入館150万人達成！やさと温泉ゆりの郷



▲ゆりの郷のロビーで行われた記念品贈呈式

訪れるとのこと。「食事もおいしいし、露天風呂からの眺めも最高。特に、ミストサウナが気に入っています」と話し、今後も訪れたいと話していました。

美しい景色と しし鍋で秋を 満喫

11月17日、やさと温泉ゆりの郷（小幡）の入館者が、150万人に達しました。それを祝って、150万人目と前後の入館者3組に記念品と花束が贈呈されました。

ゆりの郷は、平成12年7月20日にオープンし、平成18年1月4日に入館100万人を達成しました。

150万人目の入館者は、友人3人で来館した桜川市の植木啓子さん、筑西市の潮田意美子さん、仁平和子さんです。植木さんらは、毎月数回

つくばねオートキャンプ場で、11月30日につくばねしし鍋まつりが開催され、市内外からおよそ500人が訪れました。このまつりは、農作物に害をおよぼすイノシシで、逆にまちをおこしをしようと企画され、今年で3回目となりました。

当日は、人気の手打ちそばのほか、イノシシの肉を使った「しし鍋」や、今年新しくメニューに加わった「しし肉じゃが」「ししカレー」などの創作料理も用意されました。

特設ステージでは、地元の伝統和太鼓「夢ひびき」や、筑波山ガマの油売り口上、カントリーバンドの演奏などが披露されたほか、特産品などが当たる抽選会なども行われました。参加者たちは、晩秋の美しい景色の中で、おいしい料理に舌鼓をうちながら、休日をのんびりと過ごしていました。



▲つくばねオートキャンプ場にて

地域を再発見！柿岡 城まつりに3千人

地域を再発見し活力あるまちづくりを目指そうと、11月16



▲歩行者天国の路上で披露される大道芸

日に柿岡商店街で柿岡城まつりが開催され、市内外からおよそ3千人が訪れました。柿岡商店街の道路は、歩行者天国を実施して大道芸人によるさまざまなストリートパフォーマンスが披露されたり、市民が参加して地元産納豆の早食い競争や、富有柿の種飛ばし大会などが行われました。

店先や、通りに面した駐車場などには、焼き鳥や手打ちそば、つきたての餅などの模擬店も並びました。

また、特設ステージでは、炎神戦隊ゴーオンジャーショーや大抽選会などが行われ、大人から子どもまで大勢の人で賑わいました。

高浜小児童と石岡87 ロータリーが里山再生を



▲アズマネザサの刈り取り（高浜地内の雑木林で）

秋晴れとなった10月29日、石岡87ロータリークラブ（江橋修一会長）のメンバー16人が、地域貢献活動の一環として高浜小の4年生の児童17人とともに、里山再生活動を行いました。

当日は、NPO法人アサザ基金の飯島博代表理事から『生き物の暮らしと谷津田の関係』について出前授業を受けた後、高浜地内の雑木林でドングリの採取やアズマネザサの刈り取りを行いました。

児童は、この活動を通じて自然を守ることの大切さと、そのための手入れの必要性を学びました。